

仙台バッハゼミナール主催
特別講座

魅力あふれる
古楽の世界へ
ようこそ

NHK FM「古楽の楽しみ」
案内役でお馴染み

宮崎 晴代 先生
(中世・ルネサンス音楽研究者)



2026年 3月19日(木)

会場：日立システムズホール仙台・エッグホール

第1部 14:30～16:30 (開場14:15)

第2部 18:15～20:15 (開場18:00)

参加費： 各部／一般¥3,000 大学生以下¥2,000

共通／一般¥5,000 大学生以下¥3,000

主催：仙台バッハゼミナール

協力：(一社)ミュージックプロデュースMHKS

お問い合わせ：MHKS

070-6625-9244

mail : info@mhks.jp

お申込みフォーム



<https://forms.gle/kHkcEHL49n3Nzd229>

NHK FM「古楽の楽しみ」でもご案内役としてお馴染み、中世・ルネサンス音楽研究第一人者である宮崎晴代氏による講座です。

第1部は、J.S.バッハをより身近に感じて演奏できるように少しずつバッハに近づいていくステップです。第2部では、なかなか触れる機会のないルネサンス時代の合唱曲に楽しくアプローチします。貴重な機会だと思われますので、どうぞ皆さまお誘いあわせの上お出かけください！

第1部 14:30～16:30 (開場14:15)

「バッハへの道 III」

南ドイツの作曲家たちからバッハは何を学んだのか

第2部 18:15～20:15 (開場18:00)

「言葉・拍子・音楽」

～ルネサンス時代の合唱曲に見られる拍子の不思議～

宮崎晴代先生 プロフィール

武蔵野音楽大学大学院修士課程音楽学専攻修了。アメリカ・フロリダ州立大学大学院博士課程に学び、Certificate in Early Musicを取得後、東京大学先端科学技術研究センター協力研究員として、音楽における時間論と記譜法を研究する。中世・ルネサンス時代の音楽理論研究を行う一方、中世音楽合唱団に所属し、演奏活動も行っている。音楽学を皆川達夫、永田仁、カイト・ポウエル、チェンバロをキャロル・ロワナーの各氏に師事。著書『バロック音楽の名曲』、共訳書『グロケイオ「音楽論」全訳と手引き』、『ミクロログス（音楽小論）：全訳と解説』、論文“New light on Ockeghem's Missa ‘Mi-mi’” Early Music, xiii 1985, 365～375、“The Acceptance of Studies on European Medieval and Renaissance Music in Japan”. FONTES ARTIS MUSICAE, 2021.8-3: 245-254などの他、執筆多数。全日本合唱連盟『全日本合唱コンクール』課題曲（ルネサンス部門）の解説および楽譜の監修を担当。東京藝術大学、慶應義塾大学、武蔵野音楽大学、昭和音楽大学、フォンス・フローリス古楽院、各講師。NHK-FM「古楽の楽しみ」のパーソナリティも担当。日本音楽学会、国際音楽学会、アメリカ音楽学会、西洋中世学会各会員。音楽資料情報協会(RILM)委員長。『全日本合唱コンクール』全国大会審査員。